地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報を
どしどしお待ちしています！

あんなこと、こんなこと、耳より情報

町内の小中学校で卒業式
思い出を胸に旅立つ

町内の中学校で３月 13 日、小学校で 22 日、卒業式が行われました。

田尻小学校では、男子２人、女子２人の計４人が卒業。山之口信幸校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され「６年間の全課程を修了し、身に付けた知力、体力を中学校でも発揮して」と激励の言葉が贈られました。

この後、卒業証書を受け取った卒業生らは＂将来の夢＂をそれぞれ立派に述べ、参列者からたくさんの拍手が送られました。そして卒業生による「お別れの言葉」が始まると、児童や保護者らは目がしらを押さえ、別れを惜しんでいました。

卒業証書を授与される卒業生↑

13 の旅館に設置された＂ちょうちん＂と竹之内会長↓

長島地区ホテル旅館組合の合同宣言
サービス宣言を＂ちょうちん＂で

長島町の 13 軒が加盟する長島地区ホテル旅館組合（竹之内重信会長）は、心を込めたサービスの提供を宣言する＂ちょうちん＂を各店舗の玄関前に設置しました。

この＂ちょうちん＂には、「長島（獅子島）の観光に心を添える宿」と書かれており、同組合は長島に多くの観光客を呼び込み、個性のある料理を提供するとともに、地産地消の徹底、町内イベントとの連携を図ることを目的としています。

ちょうちんの導入を発案し、推進した竹之内会長は「組合員それぞれが、おいでくださるお客様に対して親切な心を持ち、きめ細やかなサービスを提供することを心がけるため」と話しました。

幣串小学校の無人島でお別れ遠足
ひょうたん島で思いでつくる

２月 24 日、幣串小学校（坂元英透校長）では、幣串沖にある学校所有の無人島「ひょうたん島」でお別れ遠足を行いました。

このひょうたん島は学校林としても活用。児童ら一人ひとりが気に入ったマイツリーを持ち、その木を６年間観察し育てるなど全国でも珍しい取り組みが評価され、全国日本学校関係緑化コンクールでも表彰されました。

この日は到着後、高学年は昼食を作るためのかまど製作に挑戦。小さな石を積み上げ即席のかまどを完成させ、自分たちで火をおこしました。低学年は、流れ着いた薪を拾うなどし、みんなで力を合わせて作ったご飯とカレーに大喜びの様子でした。６年生にとっては、最後の遠足となり、島を離れる際は、「これまでありがとう。さようなら」と手を振っていました。

小石を積み上げた自家製かまどでの昼食作り↑